

地域の魅力を活かした水辺空間の活用

かつらかわまちづくり地区



城里町とは



○面積:約161.80km²(うち61%が森林、15%が耕地)

○人口:約18,700人

○主要産業:農業

○特産品等:米や茶、赤ネギなどの農産物

粟野春慶塗、桂雛



那珂川とかつらかかわまちづくり地区



那珂川(一級河川)

○延長: 150km

○流域面積: 3,270km²

○水源: 栃木県那須町 那須岳



那珂川とかつらかかわまちづくり地区



那珂川・城里町御前山地区かわまちづくり推進協議会

○平成25年度 設立

○メンバー 国土交通省常陸河川国道事務所、茨城県、城里町、道の駅かつら、漁業協同組合、観光協会、商工会 など...

○方向性 ①食を核とした交流の場として水辺を活かす

②山紫水明の自然景観を活かす

⇒ かつら地域の活性化

③体験型の観光交流拠点として活かす

○ねらい ①交流人口拡大・観光振興

●体験・滞在・回遊型観光拠点づくり ●各種イベントを通じた活動の場の提供

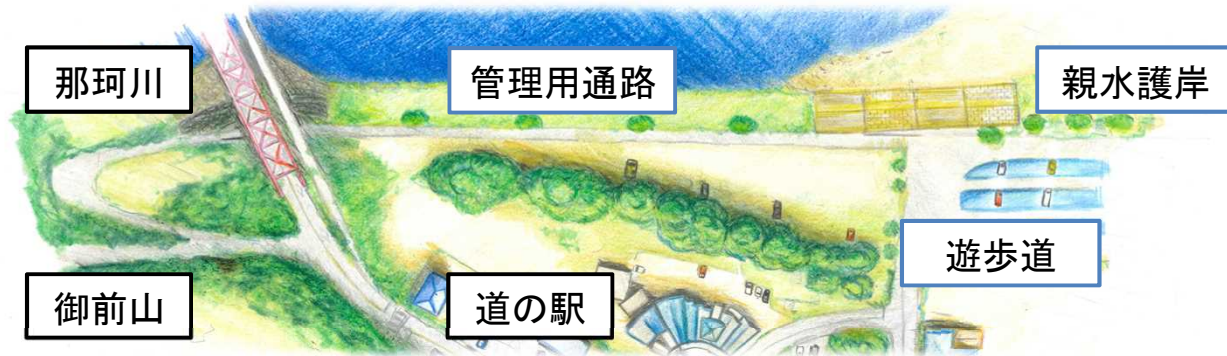
②誘客拡大・経済波及

●道の駅の来客数の増加 ●町特産品PR ●雇用創出

③水辺の安全性・親水性向上

●多様な水辺の利用促進 ●安全な水辺づくり

水辺空間づくり



整備前

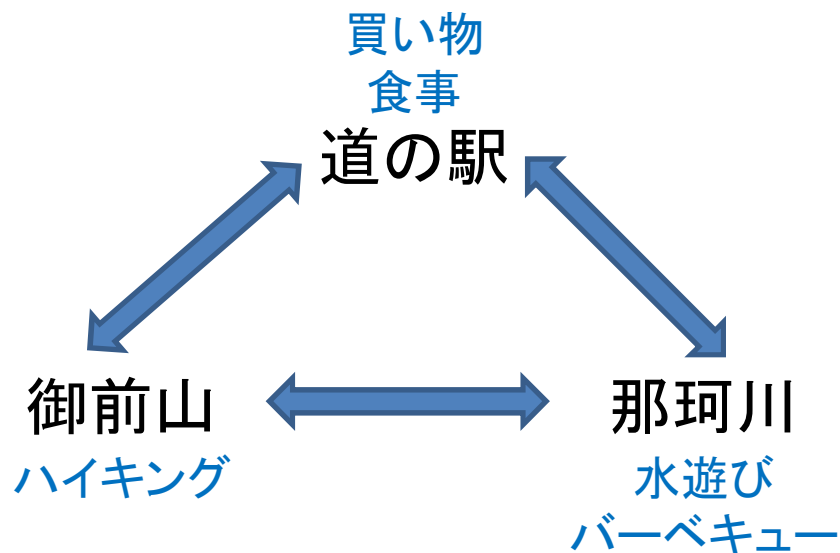


整備後

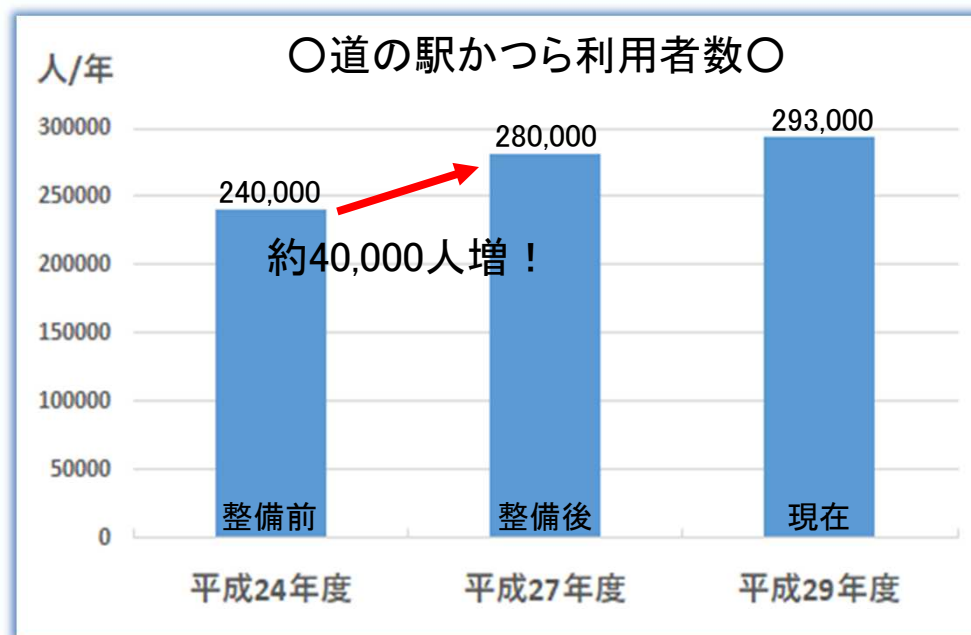


空間づくりの効果

- 水辺の安全性・親水性向上
- 周辺との回遊性向上
- 滞在時間の増加



⇒ かつら地域の一体的な利用
地域利用者の増加



地域の魅力発掘①

地域の魅力(もの・こと)を見つけ出す！

町，道の駅(地元からの視点)

○地元の美味しいものや特産品

○周辺の観光スポット



国や県(外からの視点,
河川管理の視点)

○河川資源の活用

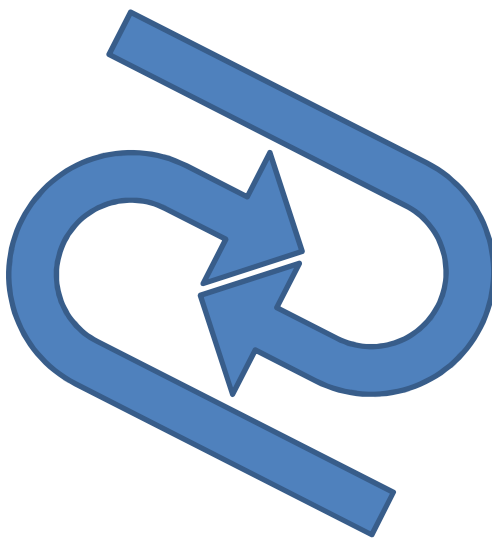
○地元資源への新しい提案

地域の魅力発掘②

地域の魅力(ひと)を見つけ出す！

協議会メンバー

- 町や国
- 道の駅
- 関係機関



地域の魅力的な人材

- 料理が得意
- 自然に詳しい
- 手先が器用

水辺を活かした取り組み①

○河川の生物をつかって ～水生生物観察～



水辺を活かした取り組み①

○河川の生物をつかって ～鮭の稚魚放流～



水辺を活かした取り組み②

○河川の資源をつかって ～竹炭づくり～



水辺を活かした取り組み②

○河川の資源をつかって ～竹細工体験～



水辺を活かした取り組み③

○周辺観光地をつかって ～御前山ハイキング～



水辺を活かした取り組み④

○地域の食をつかって ～新米釜炊き, バーベキュー, 焼き芋 など...～



水辺を活かした取り組み

○季節を感じられる取り組みを！

夏



秋



冬



まとめ

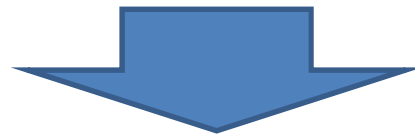
田舎の弱みを強みに！

田舎くさい、地味、山(自然)しかない



意外と多くの人が…

田舎でしか体験できないことがしたい！



少しだけ付加価値をつけて…

特別な体験に！

まとめ

地域の魅力を活かして少しでも特別な体験を！



また遊びにきたいと思えるような地域に！

御清聴ありがとうございました！

